

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10121003				
授業名	社会学概論 B	形態	講義	単位	2
担当教員	野田 陽子				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	火曜1限		
授業目的	社会学に関する知識と社会的なものの方の見方・考え方を身につけ、社会的現実を分析する力を養う。				
授業内容	社会学の基礎概念の理解をとおして社会的な分析視点を学び、その基礎概念と分析視点を活用しながら、社会学が研究対象としてきた主要な事象ごとに現代社会の特質や動向について考える。 授業の進行はテキストの章の配列と内容にしたがうが、毎回その概略と追加情報を記したレジメを配布し、そのレジメに沿って講義をし、必要に応じてテキストの該当箇所の記載を参照する。				
到達目標	1 社会学に関する基本的な知識を身につける。 2 社会的現実の動向を正確に把握する。 3 身近な事象を社会的な文脈の中で理解する。				
ディプロマポリシーとの関連性	<社DP2-(1)> 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。				
授業形態	基本的に講義形式で行なうが、毎回、授業で学んだ内容に関する復習問題を課し、次回の授業の初めに答え合わせをするとともに、質問を求め、学生の知識の定着と理解の深化をはかる授業を行なう。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	松下育夫・守弘仁志編著、2013『イントロダクションシリーズ9 社会理論と社会システム（第2版）』学文社				
評価方法	本講義の到達目標に達しているかどうかをはかる授業内最終試験、および事前・事後学習の成果をはかる2回の授業内小テストの結果で評価する。				
評価基準	授業内最終試験成績60点、授業内小テスト成績40点（1回20点）の計100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	授業内小テストおよび最終試験は、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を念頭におき、正誤を問う形式で出題する。問題用紙を回収しないことで、テストおよび試験終了後に行う答え合わせと解説によって、自己採点と理解度の自己確認を可能とする。授業内小テストに関しては、次回授業時に全体の結果についての概評を行う。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習を欠かさないこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業内容の概略を理解したうえで、これまで社会とのつながりを強く感じて事柄について600字程度でまとめる。
授業内容	授業の進め方について説明したのち、本科目のイントロダクションとして、社会学とはどのような学問かについて考える。
事後学習	社会学を学ぶ意義について、600字程度でまとめる。
参考文献	
第2回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会システム」について学ぶ。とくに、社会がどのようにして成り立ち、どのようにしてその安定性が保たれているかを考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	
第3回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「法と社会システム」について学ぶ。とくに、法がどのように社会秩序をつくりあげているかを考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	
第4回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「経済と社会システム」について学ぶ。とくに、市場経済に焦点を合わせ、市場が社会生活に及ぼす

影響について考える。

事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第5回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会変動」について学ぶ。とくに、私たちが生きる現代社会の基本的仕組みをつくりあげた近代化の過程について、グローバルな観点からみたその進展の落差も含め、考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第6回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「現代社会と人口動態」について学ぶ。とくに、人口減少時代における人口の動態と、少子高齢化のメカニズムについて考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第7回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「現代の地域社会」について学ぶ。とくに、変貌する都市と、過疎地域それぞれにおける生活の特徴と生活問題について考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第8回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会集団と組織」について学ぶ。とくに、集団の成立と発展に焦点を合わせ、集団が個人および社会にとってもつ意味について考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第9回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「現代社会と家族」について学ぶ。とくに、家族の構造と機能に焦点を合わせながら、現代日本における家族と家族生活の変容について考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第10回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「生活のとらえ方」について学ぶ。とくに、個人と社会の結節点である生活構造に焦点を合わせ、現代日本に生きる人びとのライフスタイルについて考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第11回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会的行為」について学ぶ。とくに、さまざまな社会的行為論のもとで行為がどのように説明されてきたかについて考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第12回

事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会的役割と社会的ジレンマ」について学ぶ。とくに、地位と役割の分化に基づく行動選択と、合理的行動選択がもたらす非合理的結果について考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。

参考文献	
第13回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会関係」と「社会的孤立」について学ぶ。とくに、社会関係の維持・存続と、関係からの排除に作用するメカニズムについて考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第14回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「社会問題のとらえ方」について学ぶ。とくに、社会問題の判定と基本的発生要因について考える。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

第15回	
事前学習	テキストの該当箇所を読み、重要と思われる箇所に下線を引いたうえで、理解が困難であった語句または事項を10個取り上げ、それぞれ150字程度でまとめる。
授業内容	「具体的な社会問題」について、貧困、差別、自殺、犯罪・非行、虐待、各種ハラスメント等を取り上げ学ぶ。
事後学習	授業で学んだ重要事項について整理するとともに、授業中に配布した「復習問題」に取り組む。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><社DP-2> 【社会福祉学分野における知識・技能・態度】 社会福祉学に関する価値、倫理、理論、方法を体系的に理解しそこから培われる福祉マインドを持って、さまざまな実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。</p> <p><社DP2-(1)> 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。</p> <p><社DP2-(2)> 社会福祉の専門職（社会福祉士等）に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。</p>
-----------	--